

■茅原華山 ジャーナリスト。<日露戦争>以降、時流に合わせて次々と主張、直接購読雑誌は戦後まで愛読者。

かやはらかざん

初の日刊新聞1870= 旧幕臣の長男として東京に生れる。

明治6年政変 1873= 3歳 :

沖縄県編入・1879= 9歳 : 早くに父を失ったため、

明治14年政変1881=11歳 : 小学校を中退し、

通信省の給仕などをしながら苦学して漢学を修め、

初の対等条約1888=18歳 :

帝国憲法発布1889=19歳 :

大本教・・・1892=22歳 : 仙台の{東北日報}の記者となったのを振り出しに、

郡司千島探検1893=23歳 : 仙台の{自由新聞}を経て、_{山形自由新聞}の主筆となり、

日清戦争始・1894=24歳 :

八幡製鉄始・1897=27歳 :

子規句歌革新1898=28歳 : {人民}新聞など、自由党系紙をへて、

田中正造直訴1901=31歳 : _{長野新聞}主筆を務めた後、

日比谷公園・1903=33歳 : 政友会系の{電報新聞}に入り、対露主戦論を唱え、

日露戦争始・1904=34歳 : *堺利彦・幸徳秋水・内村鑑三ら非戦論者の退いたあとの{万朝報}に迎えられた。

日露戦争終・1905=35歳 : 社長黒岩涙香に囑望され、日露戦争直後から、海外通信員として欧米に派遣され、

満鉄発足・・・1906=36歳 :

韓国併合・・・1910=40歳 : 帰国後は、軍国主義反対の潮流に投じて、

明治天皇没・1912=42歳 :

大正政変・・・1913=43歳 : 石田友治と共に雑誌{第三帝国}を創刊し、

第一次大戦始1914=44歳 : *{万朝報}を退社して盟主となり、同誌上で<民本主義>を唱え、全国にひろがった営業税反対運動の先駆的提唱者となり、<小日本主義>を唱え植民地放棄を叫ぶが、第1次大戦勃発とともに<小日本主義>を放棄、

21ヶ条要求・1915=45歳 : 総選挙に落選すると、後藤新平に接近して、石田と対立するようになり、

民本主義・・・1916=46歳 : 新雑誌{洪水以後}(のち{日本評論}と改題)を創刊。「半生の懺悔」を刊行し、渡米。

本格政党内閣1918=48歳 : 帰国後は_再びデモクラシーの時流に投じて、{東京毎日新聞}の編集監督に就任。

大暴落・・・1920=50歳 : *直接購読の雑誌{内観}を発刊し、東西文明の融合論から出発しながら、<霊肉の一致>を要求して、(民生維新)<生活革命・社会革命>を提唱。

原敬首相暗殺1921=51歳 :

護憲三派圧勝1924=54歳 :

世界恐慌・・・1929=59歳 : 「韜晦以後茅原華山文集」。

満州事変・・・1931=61歳 :

国際連盟脱退1933=63歳 :

日中戦争始・1937=67歳 :

日米開戦・・・1941=71歳 :

・・・1942=72歳 :

年金+総武装 1944=74歳 : _{内観}の廃刊に至るも、

敗戦・・・1945=75歳 :

極東裁判決・1948=78歳 : 戦後、*{自己批判}と題して復刊、

_なお愛読者を持ち続けて、

独立回復・・・1951=81歳 :

メデー事件・1952=82歳 : 没した。

平凡社百科事典、